



ID: 1248

科目名	生涯スポーツ論【26年度生用】			コード			
英語表記							
担当教員名	岡部 祐介			年度	平成26年度		
基準年次	2年次	開講期	前期	単位数	2		
授業形態	講義	授業形式		履修形態	選択		
授業概要							
本講義では、1970年代以降、日本のスポーツ、学校体育において目指されてきた「生涯にわたってスポーツを楽しむ」ことを目指す「生涯スポーツ」についてその概念、歴史、現状、問題点について理解する。また、地域のスポーツ振興についても理解を深める。							
到達目標							
・日本における生涯スポーツの概念、歴史、現状、問題点について理解できる。・スポーツ・フォア・オールについて理解できる。・日本および世界における生涯スポーツに関する施策・方策・法について理解できる。・地域のスポーツ振興がどのように行われているか関心をもつことができるようになる。							
授業計画							
第1回	生涯スポーツとは①日本における生涯スポーツの概念、歴史						
第2回	生涯スポーツとは②スポーツ・フォア・オールという考え方						
第3回	日本人のスポーツ観						
第4回	日本的スポーツ集団の形成とその性格						
第5回	日本的スポーツ組織の歴史的・社会的性格						
第6回	日本のスポーツ政策① 総合型地域スポーツクラブの設立						
第7回	日本のスポーツ政策② スポーツ振興法・スポーツ振興基本計画						
第8回	諸外国におけるスポーツ政策と生涯スポーツの推進① ヨーロッパ						
第9回	諸外国におけるスポーツ政策と生涯スポーツの推進② アメリカ・オセアニア						
第10回	諸外国におけるスポーツ政策と生涯スポーツの推進③ アジア						
第11回	地域のスポーツ振興について① 調査対象の決定						
第12回	地域のスポーツ振興について② 実施調査						
第13回	地域のスポーツ振興について③ 報告会資料の作成						
第14回	地域のスポーツ振興について④ 報告会						
第15回	日本における生涯スポーツおよびスポーツ振興の課題						
評価方法と基準			評価項目と割合(%)				
出席・態度や毎授業時に実施する小レポートによる平常点(50点)および定期試験(50点)による総合評価を行う。			出席	授業態度	レポート	期末試験	その他
				10	10	50	0
授業外学習			テキスト、教材				
市内の総合型地域スポーツクラブおよび民間フィットネス・クラブの視察を予定。			適宜、配布。				
参考書			受講生へのメッセージ				
厨義弘、大谷善博(1997)『生涯スポーツの社会学』、学術図書出版山口泰雄(1996)『生涯スポーツとイベントの社会学』、創文企画			「生涯にわたってスポーツを楽しむ」ことが、自分にとってどのような意味をもつか、じっくり考えましょう。また、地域のクラブ等に視察に行く予定です。積極的に取り組んでください。				
キーワード							